



主要な施設・事業の構成の事例

	愛知万博	上海万博	ミラノ万博
テーマ館	<p>「グローバルハウス」</p> <ul style="list-style-type: none"> コンセプトは「過去、現在、未来における地球と人類のあり方」 冷凍マンモス 世界中から貴重な展示品 最新映像技術を駆使したシアター 	<p>「都市人館」</p> <p>人が求める都市の機能を確認しそれを満たす都市の姿を探る</p> <p>「都市生命館」</p> <p>都市を生命体として見て、人類と都市のありかたを探る</p> <p>「都市プラネット館」</p> <p>地球的な視点から都市を知る</p> <p>「都市文明館」</p> <p>芸術と都市の関係を展示紹介</p> <p>「都市未来館」</p> <p>夢を実現する都市の未来を展示</p>	<p>「PAVILION ZORO」</p> <ul style="list-style-type: none"> * 公式参加国館に番号設定 食糧生産と消費の歴史をたどり来場者が「食」の問題を考えるオリエンテーションパビリオン 国連食糧計画による「ZERO HUNGER CHALLENGE」と連携
主催国館	<p>「長久手日本館」</p> <p>日本の経験、“20世紀の豊かさから21世紀の豊かさへ”</p> <p>「瀬戸日本館」</p> <p>自然と生きる日本人の知恵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技・こころ～自然とつながる感性を取り戻そう <p>* 共通コンセプト</p> <p>「つなぎ直そう。人と自然」</p>	<p>「中国国家館」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「都市発展における中華の知恵」 ・改革開放後30年の中国の都市化の過程と成果を振り返り ・中国の都市開発のコンセプトと低炭素社会への展望を発信 ・国宝級名画「清明上河図」のCGによる中国の古代都市の知恵 	<p>「Palazzo Italia (イタリア宮殿)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「農場のイタリア」 若者を育成することにより持続可能な世界の実現を目指す ・南北大通りの北端に設置 <p>* 南北大通りにイタリアの各州や業界団体が出展</p>
先進的な提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池自動車、自動運転バス ・EXPOエコマネー ・森の自然学校(環境教育) ・自然エネルギー(太陽光) ・新エネルギー(生ごみによる発電など) ・垂直緑化、ドライミストなど ・ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストシティ実践区模範的都市 革新的な環境技術をによる模範都市を設置 ・世界最大の電気自動車充電ステーションを設置 ・主に中国人民を対象に、携帯電話を通じた世界のマナー教育を実践していた 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオダイバシティパーク(生物多様性の展示とオーガニックマーケット) ・未来のスーパーマーケット
市民・NPO参加	<p>「市民パビリオン&海上広場」(瀬戸会場)</p> <p>コンセプト:あなたの地球の愛し方見つけてください</p> <p>「地球市民村」(長久手会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博史上初めて世界のNPOが集う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加は会場外で分散展開 <p>* ボランティアはあり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スローフード協会出展 ・世界農学者協会出展など
会場構成	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手会場(公式参加国など)と瀬戸会場(市民参加など)の2会場構成 * 約2km離れた2会場をゴンドラリフトなどで連絡 <p><長久手会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3が森や林、池 ・高低差30m以上の丘陵地 ・グローバルループ(主動線)と6つのコモン(公式参加陳列区域)による会場構成 ・自然環境保護を徹底した会場建設 ・既存の公園を活用し、博覧会後は公園に戻した 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦東エリア(公式参加国)と浦西エリア(テーマ館、企業館など)の2エリアを黄浦江(川)を挟んで構成し、2つの大橋で接続 ・博覧会後に残す一軸四館(世博軸、文化センター、中国館、テーマ館、世博センター)を計画し、博覧会後の都市計画の骨格を形成 ・世博軸:浦東エリアBゾーン主動線 全長1km×幅110m 	<ul style="list-style-type: none"> ・主動線の東西大通り(直線1.5km)に面して公式参加陳列区域を設置 ・単独館が主動線に面する敷地間口を統一 ・集合館をコーヒー、チョコレートなどの農産物で分類

出典:万国博覧会と人間の歴史(2015年思文閣)、愛知万博公式ホームページ、上海万博概要(ジェットロ)など